

新疆旅行記
(續)

に譲り、玆には單に銀價の現在并に其將來には希々なり、一個大六錢小三錢の小賣値なり

永井 櫻 國
(七十四)

▲問島問題 是清韓兩國多年の懸案にして其一朝一夕に結了し得ざるは素より其處な

上海の綿糸在義が少數なりしに拘らず同地
し香港より支那人が輸入するもの最も多し
之をチャン州と云ふ日章清の三國人に通じ

に遷延したるは遺憾なるが既に開關する以

落の原因となりたるのみならず過般株式の傘の如き點燈用品は仁川市中に於ては日本

棄て、實地的解決をなすに依りては、今少し
 づつ、近かるべく、新の如きは、日清兩

國品の輸入は減少して日韓貿易辛く舊體に至りたる原因として一の注意すべきことあり

それがために叔父の家を逐はれる。學費を絶て持つて來たので、一ヶ月、可憐の間に母が暮しのつづき、

某貿易商の張魂觀

なき由小鍋又は藥罐の如くには賣行からずル油蠟等は未だ韓人の民度に適せざるが如く賣行台より買ひ取らざるも地方の衣

「然うかね、
 那樣に快くなつたかね。」



となり、京に向うランブは仁川などにては
 實行なき割合、上品にして實行は
 限られ地方に出づることなし地方阿
 のは大概仁川より供給するの確と
 れも孰れにせよ今日はカンテラ時代よ
 物ランブに移るの適機にして將來は韓
 需用一層發展するの望あり
 小 説

絃のみたれ

(七十四) 永井 櫻園

一家の主人となつた山田は、學生生活
 の時代と去つて、活動的の實社會に入
 る氣がするので、病氣以前と病氣以後と
 隔世の感がするのである。
 一つくゝ人の運命の人力をもつて左右
 からざるを覺つた。過去將來の事ども
 續けるのである。

ならぬ大責任は、悉く僕が双肩に擔つて
 居るんだが、さて活動的社會に經驗の乏し
 い、無名の美術家が僅か一本の彩管で、
 の大責任が果して行けるであらうか。」
 と、獨り病床で感想に耽るのであつたが。
 「イヤ行けても、行けなくつても、既に實
 が絃に至つた以上は、如何なる艱難を嘗
 ても責任を盡さなきやならない、考へて
 見れば既に二十五にもなるんだ、いつて
 も世間馴ない學生の意で居つたのが間違
 うせ人間は一家を作つて、平和な家庭
 樂ひの目的であるのだ、僕どもそれ
 理想であつたので、謂はばこれまでの運
 命を現實に味はうのだ、いくら無名の美術
 術家だつて、活動の爲やうちや、ヤマで
 けない事は無いだらう。」
 と、自ら慰めて、眼は爛として希望に燃
 のであつたが、やがて、また、

國民の改造

國	北道榮川分署	一三八
國	原 遂春川警察署	一三八
同	金城分署	五十二
同	原州分署	二十九
同	江陵分署	二十九
同	平安北道新義州警察署	二八
同	黃海鹽興分署	二八
合	北道鎮山分署	三八
計		百八十三

●大鵬丸の鎮南浦航海の砕氷器を具備せる大鵬丸千九百十噸は、昨年末御用船として樺太航路に使用されつゝいりしが、今回御用済みとなりたるを以て、

二百餘名を招き國

●彈藥の輸送 龍山兵隊に於ては彈藥を
 直に鎮南館に輸する體定なりと
 三十日大坂を出發し二七日堺仁川に
 千六百俵と昨日馬山九に於て大坂に輸送す
 どのことなり
 ●馬山の清荷 本日入港すべし馬山を
 仁川陸軍運糧部管轄及 其他六百俵
 を積載しあること同部に手品本部より通知
 ありたり

對星樓茶話

△漢城外交開時代より外人中韓宮廷の機密

に彼等を異條旗の

ツッペンゼラー、ハルバート等なり、轉送は
路を置くものにはメルレンドナフ、ブラ
ン等^ノを第一位とし、其以下に於てはナンデ
アレキエフ等なり。

△外人中韓國の文選に耳敏したるものはユ
リフアントンの教育商業、ダールのパイプ
翻譯、佛國公使フランセーの高麗焼及古書
の蒐集等なるべし。

△高麗古書よりも韓國の書内者は毎日約二
拾二冊と云く、續勢病は未だ風運宮より續
せざるなり。

止まざるなり

△訓練院に植物園を設け、庭園宮内に動物園を置き、水府蔵に圖書館を設立し、南門外に動物園を設け、昌陽園の一部を公園に開放し、三清洞に殖民大學を置き、鍾陵公園に立脚場を作くり、水標橋附近に公設市場と観音橋を設け、居昌民園と漢城市を共同せる市政公園を設立し、塔洞公園に官設バラ園と公衆の音楽堂を興し、東大門外に韓國遊樂園を置き、北漢山遊藝電車を布設せば、漢城市をして世界の都市と爲すに近かるべし。

の暴徒

陰謀は漢城の花なり、空權は殖民地の花にして實業は殖民地の實なり。
△三案閣下は朝鮮政治の神と稱ふべし。

1997

10

